



帯広市立明和小学校 学校だより
Obihiro Meiwa Elementary School

明和の子

みんながえがお みんなでみがく みんながつながる

平成30年7月17日 No.806

文責 岸梅哲郎

確かな学力を身に付けつげるために

子どもたちに、各学年の学習内容をしっかりと身に付けるために、学校では興味関心をもたせたり、できる喜び、わかる喜びを実感させたりしながら授業を工夫しています。その工夫の一つに、一つの教室の中に複数の先生がいるTT指導とクラスを二つに分けて授業する少人数指導、習熟度別指導があります。どちらも、学校に先生が多く配置されていないと難しい指導方法です。本校では、平成8年度から一人多く配置されて取り組んでいます。

今年は全学年、算数科で行っています。各学級年間60時間程度ですが、つまずきやわからない問題を個別に教えたり、少ない人数できめ細やかな授業を行ったり効果的に進めています。



上下の写真のように少人数指導ではクラスを分けるため、自分の教室と違う教室で別々に学習しています。1時間で同じ内容を学習するようよう、先生方は打合せをしています。

学年通信の時間割に「算数(TT)」となるところは、TTの指導もしくは少人数指導になります。(指導体制は学習内容によって変わります。)ただし、あらかじめ決定しているところは「算数(少)」と記載してあり少人数指導を行います。



姿勢がいいですね。机の上にはよけいなものが載っていません。



話をしている方をしっかりと向いています。



二人で意見を交流しています。相手にわかってもらえるように・・・。



授業の後は、先生方で授業についての話し合いをします。グループごとに話してその後全体交流です。

先日、2年2組で全校授業研を行いました。今年は国語科で「**自分の考えを持つ**」「**伝え合う力を高める**」研究を行っています。どちらも新学習指導要領ではとても大切なことです。授業改善は、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるためには重要です。今後も校内研修を通して進めていきます。

今回の授業研では、エリアファミリーの第八中学校、若葉小学校の先生方にも見ていただき、授業についてのご意見をいただきました。客観的な見方をしていただき、とても参考になりました。

今年もお世話になりました

慈恩の里～6年生

毎年6年生が福祉体験学習のお世話になっている「慈恩の里」に今年もお邪魔させていただきました。

「慈恩の里」には、特別養護老人ホームとして100名ほどの入所者の方が生活しています。その中で職員の方がたくさん働いており、入所者の方へのお世話や介護をされています。その一部を子どもたちが体験してきました。アイマスクや車椅子体験、ベッドから起こして車椅子に座らせる、シャワー補助などの体験をしてきました。ほとんどの子どもたちが初めての体験なので、驚きと介護の難しさを感じ取っていました。今後の学校生活の中で下級生などに対する優しさや思いやりがますます育っていくことを願っています。

地域学習をしている4年生

体験学習が多いです



ごみの分別とごみ収集車の仕組みの勉強
収集車はたくさんごみが入ります



警察の仕事の勉強では、警察官の身に付けているものをつけたり、パトカーの中を見せてもらったり・・・



見えていないと段差がある所を歩く時とても不安です。

寝ている人を起こして椅子に座らせるのは、力だけでなく、コツを覚えなくてははいけません。



まずはひざをたててから……。

ヨイショッと。



児童会の取組

～ふれあい給食～

児童会の取組で他の学年の人と給食を食べました。高学年が中心に楽しく食べていました。

～登校クリーン作戦 7月20日(金)～

登校中、歩道に落ちているごみを拾います。1～3年生は4年生以上のお兄さんお姉さんのゴミ袋にごみを入れてください。学校で仕分けます。この取組はエリアファミリーの取組でもあり、若葉小と八中でも実施します。

